



第443号 平成27年6月1日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

TEL (075) 256-0351

FAX (075) 241-3568

発行人 林 鐘 声

第66回指定都市学校保健協議会

会 長 林 鐘 声

5月17日(日)、名古屋市学校保健会、名古屋市教育委員会主催で開催されました。それに先立つ16日(土)には、名古屋市学校医会主催の学校医懇談会がホテルウェスティンナゴヤキャッスルで行なわれ、京都市学校医会から7名が出席しました。内科、眼科、耳鼻咽喉科と3つに分れた研修講演のうち、内科の「児童生徒の心疾患と運動制限」は、心疾患の子どもに運動させること、運動は心疾患の子どもにとって良いとするのが主題であったものの、残念ながら、運動が心疾患の子どもにとって有用とするデータの提示はなく、目新しいものではありませんでした。大文字駅伝選手のことが念頭にあり、継続した強い運動が及ぼす心電図変化や不整脈について質問しようと臨んではいたのですが、遠慮することになりました。

続いての合同の特別講演は、浜松医科大学児童青年期精神医学講座の杉山登士郎先生による「子どものころを育てる」でした。2週間に1時間程度の専門的訓練は無意味に過ぎず、日々の療育の実践こそ重要と述べていました。発達障害の子供に特有の“発達の凸凹・こだわり・神経過敏”虐待の子にみられる“フリーズ・フラッシュバック”などの鍵となる言葉が何度も語られるとともに、発達の凸凹の凹の対応よりは凸を伸ばす対応が重要と強調していました。誉めて育てるという今様の風潮には、全面的には同意できない部分がありますが、生きにくさを持っていて、子育て困難児となっている子どもには、凹の矯正では、解決は得られずしんどさだけが増すことが示されていたのは十分に納得できることでした。この講演の詳細は、精神衛生研究班の杉本英造先生に報告して頂きます。

翌日の名古屋市国際会議場での協議会には、京都

市からは学校医会の10名の他、学校薬剤師、養護教諭、校長、学校歯科医師など併わせて25名が参加したようです。冒頭、名古屋市長の河村たかし氏は独特の名古屋弁を駆使して、税金を一番納めている自治体は名古屋市であり、その市長の意見を国はもっときいてちょうよという意見を述べるなど、名古屋を強く感じさせる挨拶で協議会は始まりました。

記念講演の「トップアスリートから学ぶ子どもの健康づくり」、中京大学スポーツ科学部の湯浅景元教授による講演内容は、子どもに対してというより、合い間、合い間に健康体操を取り入れながら、出席者である私達への健康づくりのための睡眠・食事・運動という内容となっていたように思います。歩くのは心肺機能維持には良いが、足の筋肉には10~20%程度の負荷しかかからないことから、歩くだけでは足の筋力はずかづ衰えていく、50%程度以上の負荷をかけないと筋力をつかないという指摘は、歩くことが筋力低下の防止となると漫然と考えていた私の無知を明らかにするものでした。また、座る姿勢、仕事をする姿勢、メールをする姿勢など、日々の姿勢を見直すことも重要であり、自分の体に手をかけていく、気をかけていくことが健康づくりの基本であり、ご自愛下さいと手紙に書く前に、その言葉は自らにしっかりと向けられたものでなければならぬと教えていたように思います。

脱水症のランチョンセミナーを聞きながら昼食を摂った後、午後からは、課題別協議が4分科会に別れて行なわれ、夕方に解散となりました。各分科会の内容は別に報告を頂きます。

来年は5月29日(日)、静岡市での開催と決定しました。

ご 挨拶

京都市教育長 在 田 正 秀

この4月から京都市教育長を拝命いたしました。在田でございます。新しい教育委員会制度における初めての教育長として、その職責の重大さを痛感しつつ、日々の職務に全力を尽くしております。

京都市学校医会におかれましては、林 鐘声会長を中心に、子どもたちの健康の保持増進をはじめ、本市教育に対して多大の御支援、御協力を賜り心から御礼申し上げます。

さて、感染症や生活習慣病、また心の健康など、子どもたちを取り巻く健康課題は、ますます多様かつ深刻になっております。とりわけ、食物アレルギーに関しましては、他都市における学校給食での死亡事案を受け、その対応が大変重要かつ喫緊の課題となっております。

本市におきましては、食物アレルギー対策検討会議を立ち上げ、学校医会の先生方にも御参画いただき検討を重ね、今年1月に「京都市立小学校における食物アレルギー対応の手引」を策定いたしました。さらに、京都市学校医会と京都府医師会の先生方の御尽力の下、京都市独自の「学校生活管理指導表」を作成していただきました。これらの新しい手引や様式のもと、4月から全市的な食物アレルギーの対応を開始しておりますが、こうした的確な対応が迅速

にできましたのも、学校医会の先生方の御協力があったからこそであり、改めて感謝申し上げる次第です。また、来年度からは、児童生徒の健康診断に運動器検診の項目が加わります。現在、国においてマニュアルの策定が進められておりますが、健康診断の充実に向け、学校医会の先生方から御助言もいただき着実に取組を進めていかなければなりません。

教育委員会といたしましても、去る4月9日、指定都市トップを切って開催いたしました「教育総合会議」において本市の教育に関する「大綱」と位置付けた京都市基本計画「はばたけ未来へ 京（みやこ）プラン」の着実な推進に、熱意あふれる教職員と共に取り組んでいるところであります。とりわけ、心と体の健康は生きる力を育み、学力を向上させるための基礎基本であると認識しており、今後とも、子どもたちのいのちと健康を守る取組の充実に向け、学校医会の先生方としっかり連携し、門川大作京都市長を先頭に本市一丸となって進める「子育て・教育環境日本一のまち・京都」の実現に全力を尽くしてまいります。引き続き、先生方の御支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

結びに、京都市学校医会の更なる御発展並びに先生方の御健康と御活躍を心から祈念いたします。

新 任 校 医 挨拶



常任理事

川 勝 秀 一

(養徳小学校)

平成27年4月より養徳小学校の校医をさせていただくことになりました。

昭和53年に京都府立医科大学を卒業し、長く京都市立病院に勤務しておりましたが、平成23年から保

健センター勤務となり、平成27年4月に川勝小児科内科医院を開業いたしました。長く京都市の学校検尿に携わり、京都市学校医会の仕事や、京都府医師会の学校保健委員会の委員もさせていただいておりますが、実際の校医は初めての経験です。今までの耳学問を学校現場で生かせるよう努力してまいります。皆様よろしくよろしくお願いいたします。



大塚 弘 友
(梅津小学校)

このたび、梅津小学校の校医をさせて頂くことになりました。私自身、梅津小学校の卒業生であり、今回の就任に当たり懐かしく思う反面、身の引き締まる思いです。平成11年に先代のあとを継承して地元の梅津で開業しております。校医業務にあたりいたらないことが多くあるかと思いますが、学校医会の諸先輩方の御指導の下、地域の子供たちの健康維持に少しでも貢献できればと考えております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



寺 村 和 久
(西京極小学校)

平成27年4月より西京極小学校の校医をさせて頂くことになりました。昭和63年大阪医大を卒業し、平成19年からは右京区西京極で両親の後を継ぎ、西大丸診療所院長として地域医療に従事しております。

児童の健康、成長、並びに教職員の皆様の健康を維持するため、微力ながら学校医として貢献できれば幸いです。今後ともよろしくご指導の程お願ひ申し上げます。



土 井 たかし
(大原野中学校)

平成27年4月より京都市立大原野中学校の学校医をさせて頂く事となりました。

平成19年まで京丹波町立和知小学校、和知中学校で学校医を務めさせていただいて以来の学校医としての着任となります。当地でスポーツ少年団のコーチもしている関係で、健診での再会などもあり、楽しく学校医を務めさせていただいています。前任の際に始めました小中高校での健康教育の授業については、昨年より同校で始めた認知症啓発授業と併せて引き続き行い、生徒さん達の現在、未来の心身の

健康・成長に寄与していきたい所存です。今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。



八 田 佐知子
(乾隆幼稚園・乾隆小学校)

いつもお世話になっております。2005年秋より上京区のはった医院にて夫とともに診療に従事しております。

会長である林先生と同じ西陣医師会に籍があり、先生から乾隆小学校と幼稚園の校医・園医をとのお話を伺いました。

私事ですが、14年間にわたって地域の小学校に3人の子が通いました。この春で3人目が卒業し、さびしくなるなぁと思っておりましたところへこのお話を頂き、また小さいお友達に会う機会ができることが嬉しく、お受けさせていただきました。

といひましても内科医で経験不十分なところもございます。初めから勉強させていただく所存ですので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



岸 田 聡
(向島二の丸小学校)

平成27年4月より向島二の丸小学校の校医をさせて頂くことになりました岸田 聡と申します。平成14年に名古屋市立大学医学部を卒業し、内科勤務医生活の後平成26年4月より岸田医院副院長として勤務しております。

学校医会の中で自分の出身学校の校医をされておられる方はどのくらいいらっしゃるのでしょうか。私は33年前にこの向島二の丸小学校に入学しました。当時1学年8クラスあったのが、分校化と団地の少子高齢化のため現在1学年1～2クラスと生徒数が減少しており少し寂しいところもあります。ただ昔自分が通った小学校に校医として戻って来られましたことをうれしく思います。

学校医は初めてですが教職員の皆様と連携して子供たちの健康、成長の助けとなるよう努めて参りますので、今後ともご指導賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

第15回 京都「こどもの心とからだ」教育講演会

日時：平成27年7月25日(土) 15:00~17:30

場所：こどもみらい館 4階 第1研修室

住所：京都市中京区間之町通竹屋町下る楠町601番地の1 TEL 075-254-5001

《プログラム》

特別講演Ⅰ	-15:00~15:05-	開会のご挨拶	京都小児科医会
	-15:05~16:15-	(講演60分、質疑10分)	
座長	まつおこどもクリニック 院長 松尾 敏 先生		
	『夜尿症の初期診療』		
	兵庫医科大学 小児科学 教授 服部 益次 先生		
特別講演Ⅱ	-16:15~17:25-	(講演60分、質疑10分)	
座長	京都府立医科大学大学院医学研究科 小児科学教室 准教授 森本 昌史 先生		
	『学校や家庭における発達障害児への対応 ～ペアレントトレーニングを参考に～』		
	奈良教育大学 特別支援教育研究センター教授 岩坂 英巳 先生		
	-17:25~17:30-	閉会のご挨拶	京都市学校医会

共催：京都小児科医会・京都市学校医会・フェリング・ファーマ株式会社

第2回 常任理事会

平成27年6月6日
於 事務局

出席者 林会長、竹内・井本副会長、杉本専務理事、
東道・山内・安野・川勝各常任理事、佐野
眼科学校医会副会長、鈴木耳鼻咽喉科専門
医会理事、奥村副議長、長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 色覚相談 5/12
2. 腎臓相談 5/12
3. 精神衛生研究会 5/14
4. 第66回 指定都市学校保健協議会学校医研修会・
懇談会 5/16 於：名古屋市
5. 第66回 指定都市学校保健協議会 5/17
於：名古屋市
6. 京都市中学生春季総合体育大会 ラグビーフッ
トボール 5/17 於：京都市宝ヶ池球技場
生田篤也先生
7. 京都市学校保健会常務委員会 5/19
於：京都市教育委員会 体育健康教育室
8. ワンポイント相談 5/26

9. 西京支部会 5/30 17:00~
於：ホテル京都エミナース
10. その他

<協議事項>

1. ツベルクリン反応検査 出務医について
2. 平成27年度 各懇談会日程・協議内容について
3. 全理事会について：8/1
4. 第38回近畿学校保健連絡協議会について
5. 子どもの健康週間 後援について
6. 会誌原稿について：6月末締切
7. その他

<関連学会・各種協議>

1. 三師会 6/6 18:30~ 於：菊の井
2. 第32回 京都府歯科保健文化賞
6/7 13:00~ 於：みやこめっせ
3. 精神衛生研究会 6/11
4. ツベルクリン反応検査 6/15接種, 6/17判定
於：こどもみらい館
5. 色覚相談 6/16, 6/23
6. 京都市教育委員会との懇談会 6/20
於：室町和久傳
7. 南支部会 7/4
8. 第2回常任理事会 7/4
9. その他